

第61回 明日を創る建築講座 「日立市立中里小中学校」

今回は第38回茨城建築文化賞「茨城県知事賞」の視察研修会を行いました。



地域と調和した学びの場に見る建築的工夫をお聞きました

令和7年8月30日(土)、第38回茨城建築文化賞において知事賞を受賞された「日立市立中里小中学校」の視察研修に参加させていただきました。茨城建築文化賞は地域の周辺環境に調和し、かつ景観や機能的に優れている県内の建築物などを表彰するものであり、「文化の香り高い魅力あるまちづくり」に対する意識の高揚を図ることを目的に毎年実施されています。

日立市立中里小中学校は、令和4年に新校舎が竣工、同年、義務教育学校及び小規模特任校として開校しました。小中一貫教育校であることや豊かな自然に囲まれた落ち着いた環境であること、中学校教員が兼務する小学校専科指導が実施されていることやコミュニケーション科が設置されていること、充実した少人数指導や地域の教育資源を生かした特色ある教育活動などに賛同・魅力を感じ、日立駅と常陸多賀駅からスクールバスを利用して通学する児童・生徒もいるということです。

校舎は、背後(敷地南側)の小高い山と蛇行して流れる里川に呼応して円弧を描いて配置されており、校舎自体が両腕を大きく広げ、柔らかな子どもたちを包み込むような表情と地域に対して開かれた印象を創出していました。昇降口から図書室へのリエゾンや特別教室が遠い存在でなく近い存在に位置していること、また、マルチスペースの柱・梁・方柱・丸桁・垂木の見せる構造など、様々な無言の仕掛けに満ちていて、意匠

としてのデザインというだけでなく、学習や交流としてのデザインという新たな文化や価値を産み出しているように感じました。

講話のあと、校舎の内外を巡りながら、ふと子どもたちのキラキラした声に加えて、風の通る音や雨の滴る音、虫の聲に鳥の歌、そんな響きが耳で聴く風景のように建物のあちらこちらから聞こえてくるようでした。ここで学ぶ子どもたちの9年間は、どんなに豊かで実り多いものだろうと、羨ましく思えたほどです。

最後に、講師の株式会社三上建築事務所の大井友彦先生と企画してくださいました茨城県建築士事務所協会関係各位、協力してくださいました日立市立中里小中学校並びに日立市教育委員会関係各位に心より御礼申し上げます。

中里小中学校は、自然豊かな環境の中で、少人数で学べる特別な学校です。
少子高齢化が進む中山間地域の学校の在り方の一例として、また、多様化する教育ニーズへの対応の一例として、さらに木造在来軸組構法による公共建築の事例として。
今回の見学会が、少しでも皆さまのお役に立てれば幸いです。

株式会社三上建築事務所 大井 友彦

第47回 建築士事務所全国大会 「新潟大会」参加報告

福井大会からバトンを引き継ぎ、新潟市の朱鷺メッセにて開催されました。当茨城会からは、会長、副会長を含め26名の参加となりました。



式典の様子

今年の大会テーマ「次世代に繋ぐ環境と調和」のもとに 1200余名の参加がありました

令和7年10月3日、新潟市の朱鷺メッセにて「次世代に繋ぐ環境と調和」をテーマに、第47回建築士事務所全国大会(新潟大会)が開催されました。

昨年の福井大会からバトンを引き継いでの開催となります。大会ではまず開催行事として、山本理顕氏による基調講演が行われました。

続いて、大会式典では、日事連建築賞表彰、年次功労賞表彰等が行われ、全国の建築士事務所協会会員、来賓を

合わせ、1200余名の参加があり、当茨城会からは、会長、副会長を含め26名の参加となりました。

前日2日には「いま、そして次世代へつなげる建築士事務所のカタチ」をテーマに、若手建築士を中心とした青年話創会(わそうかい)が開催され、150名の参加者が活発な意見交換や発表を行いました。

また、3日には女性建築士・女性所員による女性交流会も開催され、「輪・話・和 わたしたちの未来をつなぐもの」を

テーマに50名がディスカッションを行いました。

今回の第48回建築士事務所全国大会は、令和8年10月2日に京都市のロームシアター京都にて開催されます。

今年参加できなかった方も、来年は参加してみたいいかがでしょうか。



山本理顕氏による基調講演



全国大会表彰者の方々